



2025年度 事業報告書

学校法人 桃山学院

| CONTENTS

2025年度の事業報告にあたって…	01	II. 事業の概要	05	III. 財務の概要	07
I. 法人の概要	02	1. 桃山学院将来構想		IV. 内部統制システムの整備及び 運用状況の概要	15
		2. 桃山学院大学		V. データで見る桃山学院	17
		3. 桃山学院中学校高等学校			



2025 年度の事業報告にあたって

学校法人桃山学院 理事長 藤原 敏正

このたび、出田善蔵前理事長の退任に伴い、2026年4月より理事長を拝命いたしました。歴史ある桃山学院のさらなる発展のため、微力ながら全力を尽くす所存です。皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

桃山学院は、1884年に英国聖公会宣教協会（CMS）が大阪市西区にあった川口居留地に創設した三一小学校を起源とし、140年を超える歩みを重ねてまいりました。現在は、昭和町キャンパスに中学校・高等学校および大学ビジネスデザイン学部、和泉キャンパスに大学・大学院と関連機関を擁する総合学園として発展しております。

建学の精神であるキリスト教精神に基づく教育を礎に、国内外で活躍する多くの卒業生を輩出してきたことは、教育行政、同窓会、後援会、PTA、そして教職員をはじめとするすべてのステークホルダーの皆様のご尽力の賜物であり、心より感謝申し上げます。

2025年度は、中期計画「桃山学院将来構想」（2023～2027年度）の中間年度にあたり、「社会課題の解決に寄与し、奉仕の心をもつサーバント・リーダーの育成」と「持続可能な地域共生社会の実現」を目標に、各事業を推進いたしました。

一方で、少子化の進展などの外部環境の変化は、学校法人経営に大きな影響を及ぼしております。本学院は、教育・研究環境の充実、健全な財務基盤の維持・強化、人的資本の確保に継続して取り組み、各設置学校の永続的な発展を図ってまいります。

本年度の主な取り組みとして、以下の事項を実施いたしました。

- ・改正私立学校法（2025年4月施行）に基づき、寄附行為の改正について文部科学大臣の認可を受け、理事会・評議員会の構成見直しや関連規程の整備を行い、ガバナンス強化を推進しました。
- ・2025年4月に桃山学院大学は桃山学院教育大学を統合し、和泉キャンパスに人間教育学部を設置するとともに、初の理系学部となる工学部の設置が認可され、2026年4月に開設しました。
- ・和泉キャンパスでは、学生数増加に対応するため、エレノア館や工学部棟建設などの整備を進めました。
- ・桃山学院中学校では定員を拡大し、中高一貫教育のさらなる充実を図りました。
- ・経営面では、各設置学校で収容定員を超える生徒・学生が在籍し、財務状況は安定しております。

今後も、桃山学院は建学の精神を大切にしつつ、時代の変化に応える教育・研究活動を推進し、社会に貢献する人材育成に努めてまいります。引き続き、皆様の温かいご支援とご協力をお願い申し上げます。



I. 法人の概要

I. 法人の概要

1. 建学の精神

学校法人桃山学院の寄附行為には、「この法人は建学の主旨たるキリスト教精神に基づき、教育基本法、学校教育法および私立学校法に則り教育事業を行うことを目的とする。」(第3条第1項)と定められています。

■ 桃山学院の「キリスト教精神」ー自由と愛の精神

桃山学院の学院章には、“SEQUIMINI ME”(我に従え)という言葉が刻まれています。それはアンデレがイエスに従ったように、「自由と愛の精神」をもって生きることです。使徒パウロが書いています。

「あなたがたは、自由を得るために召し出されたのです。ただ、この自由を、肉に罪を犯させる機会とせず、愛によって互いに仕えなさい。」(ガラテヤの信徒への手紙5章13節)

自由には他者への愛と責任がともないます。「自由」とはひとりひとりの人格と主体性を尊重すること、「愛」とは互いに仕えあいながら他者と共に生きることです。この「自由と愛の精神」は、たんにキリスト教の立場だけではなく、すべての人間が一致する普遍的な理念であり、人類共通の目標です。

人間のそのような可能性を開花させながら、高い理想をめざしてチャレンジしつづけていくこと、それこそが桃山学院の一世紀を超える伝統がめざそうとする「キリスト教精神」であり、「世界の市民」への道なのです。

■ 桃山学院の「学院章」



この学院章は、イエス・キリストの最初の弟子である聖アンデレ (St. Andrew) にちなんでデザインされている。「アンデレ・クロス」(X字型の十字架) は、イエスの教えを守り通して殉教したアンデレの偉大なる生涯のシンボルである。「SEQUIMINI ME」(「我に従え」というラテン語) は、アンデレがイエスに出会った時に呼びかけられた言葉である。したがって学院章は、アンデレのように最後まで「自由と愛」のキリスト教精神によって生きること示している。

2. 沿革

1884年 英国聖公会宣教会(CMS)、大阪川口居留地(大阪市西区川口)に一小学校(Boys' School)創設
1890年 高等英学校、西区江戸堀の仮校舎で開校(同年末天王寺区筆ヶ崎町に移転、翌年1月新校舎開校式挙行)
1895年 高等英学校を桃山学院に改称
1896年 桃山学院に改称
1902年 中学校令による認可を受け、私立桃山中学校開校(※大阪で最初の私立中学校)
1912年 現昭和町キャンパス(大阪市阿倍野区)に移転
1947年 新制桃山中学校発足
1948年 新制桃山高等学校発足
1949年 桃山学院高等学校、桃山学院中学校に校名変更
1951年 学校法人桃山学院認可
1959年 桃山学院大学(経済学部経済学科)、昭和町キャンパスで開学。開学式に英国聖公会カンタベリー大主教(Dr. Geoffrey Francis Fisher)臨席
1962年 桃山学院英語学校開校(1983年閉校)
1966年 桃山学院大学、社会学部社会学科設置
1971年 桃山学院大学、登美丘キャンパス(堺市東区西野)に学舎統合
1973年 桃山学院大学、経営学部経営学科設置／桃山学院短期大学開学(1990年閉学)
1984年 学院創立100周年記念式典
1987年 桃山学院高等学校、英数コース設置／桃山学院大学、チャペル地割式に英国聖公会カンタベリー大主教(Dr. Robert Runcie)臨席
1989年 桃山学院大学、文学部英語英米文学科・国際文化学科設置
1993年 桃山学院大学大学院、文学研究科英語英米文学専攻・国際文化学専攻(修士課程)、経営学研究科経営学専攻(修士課程)設置
1995年 桃山学院大学および法人事務局、和泉キャンパス(和泉市まなび野)に全面移転
1998年 桃山学院大学、社会学部社会福祉学科設置／桃山学院大学大学院、経済学研究科応用経済学専攻(修士課程)設置
1999年 桃山学院大学大学院、文学研究科比較文化学専攻(博士後期課程)、経営学研究科経営学専攻(博士後期課程)設置
2000年 桃山学院大学大学院、社会学研究科応用社会学専攻(修士課程)設置
2001年 桃山学院高等学校、国際コース設置(男女共学)
2002年 桃山学院大学、法学部法律学科設置／桃山学院大学大学院、経済学研究科応用経済学専攻(博士後期課程)設置

2003年 桃山学院大学大学院、社会学研究科応用社会学専攻(博士後期課程)設置
2006年 桃山学院大学、経済学部経済学科中国ビジネスキャリアコース設置／桃山学院大学大学院、経営学研究科経営学専攻日中連携ビジネスコース設置(2018年廃止)、文学研究科英語英米文学専攻・比較文化学専攻を英語圏文化学専攻・国際文化学専攻・応用言語学専攻の3専攻に改組
2007年 桃山学院高等学校、S英数コース設置(男女共学)、標準コースにアスリートクラス設置、英数コースを男女共学化
2008年 桃山学院中学校開校(昭和町キャンパス)／桃山学院大学、文学部を国際教養学部改組
2009年 学院創立125周年・大学開学50周年記念式典挙行。記念式典に英国聖公会カンタベリー大主教(Dr. Rowan Douglas Williams)臨席
2011年 桃山学院高等学校、標準コースを文理コースに改称(同時に男女共学化)
2012年 桃山学院大学大学院、文学研究科英語圏文化学専攻・国際文化学専攻・応用言語学専攻(博士前期課程)を比較文化学専攻に改組
2015年 桃山学院大学、国際教養学部国際教養学科を英語・国際文化学科に改称
2017年 プール学院大学の設置者を本学院に変更する申請が認可
2018年 桃山学院教育大学(教育学部教育学科)、堺キャンパス(堺市南区槇塚台)で開学(2025年閉学)／桃山学院大学大学院、文学研究科比較文化学専攻(博士前期課程)を言語・文化専攻に改称
2019年 桃山学院大学、本町BDL(ビジネスデザインラボ、大阪市中央区)に経営学部ビジネスデザイン学科設置(増設)、学院創立135周年・大学開学60周年
2020年 桃山学院教育大学、教育学部教育学科を人間教育学部人間教育学科に改称／桃山学院大学、経営学部ビジネスデザイン学科をあべのBDL(ビジネスデザイン・ラボ、大阪市阿倍野区)に移転
2021年 桃山学院大学、ビジネスデザイン学部ビジネスデザイン学科設置(経営学部ビジネスデザイン学科より改組)
2022年 桃山学院大学、社会学部社会福祉学科をソーシャルデザイン学科に改称
2024年 桃山学院大学、ビジネスデザイン学部ビジネスデザイン学科情報テクノロジーコース設置
2025年 桃山学院大学、人間教育学部人間教育学科設置(桃山学院教育大学との統合による)



■ 聖公会とは

聖公会とは、ローマ・カトリックとプロテスタントに大別される西方キリスト教会の中で、両者の要素を兼ね備えた英国聖公会（Church of England）の流れをくむ教派です。現在、ヨーロッパ、南北アメリカ、アフリカ、アジア、太平洋など世界約165ヶ国の国々で活動を展開し、約8,500万人の信徒数を有する組織で、カンタベリー大主教（現在のカンタベリー大主教はサラ・マラーリー（Dame Sarah Mullally）主教。約1400年の歴史を持つ同職で初の女性大主教）を精神的指導者と位置づけています。

このような世界的な組織の中の一つが、日本聖公会です。日本においては、主教・司祭・執事の三職位の聖職や伝道師・宣教師・聖職候補生ら約270名の教役者が約250の教会・礼拝堂・伝道所に遣わされ、キリスト教の宣教活動に加え様々な教育・医療・社会福祉などの事業を全国各地で行っており、教会では約1万人の信徒が信仰を守っています。

桃山学院は日本聖公会関係学校協議会に加盟しており、加盟校には、立教学院、立教女学院、香蘭女学校、聖路加国際大学、柳城学院、平安女学院、プール学院、松蔭女子学院、八代学院、英国立教学院など18校があります。

その他の関係施設では、聖路加国際病院、新生病院、聖バルナバ病院はよく知られており、また、多くの社会福祉法人や幼稚園・認定こども園などもあり、日本社会に貢献しています。

3. 設置する学校・学部・学科等（2025年5月1日現在）

◆桃山学院大学

○学部

国際教養学部／英語・国際文化学科
社会学部／社会学科、ソーシャルデザイン学科
法学部／法律学科
経済学部／経済学科
経営学部／経営学科
ビジネスデザイン学部／ビジネスデザイン学科
（ビジネス創造コース、情報テクノロジーコース）
人間教育学部／人間教育学科
（幼児教育課程、小学校教育課程、
健康・スポーツ教育課程）

○大学院

文学研究科（博士前期・後期課程）
社会学研究科（博士前期・後期課程）
経済学研究科（博士前期・後期課程）
経営学研究科（博士前期・後期課程）

◆桃山学院中学校

6年一貫コース（選抜、進学）

◆桃山学院高等学校

S選抜コース、S英数コース、
英数コース、文理コース、国際コース、中高一貫コース

4. 校地・校舎等の概要

(1)校地等所在地（2026年3月31日現在）

名 称	所 在 地
法人事務局	〒594-1198 大阪府和泉市まなび野1-1（和泉キャンパス）
桃山学院大学	〒594-1198 大阪府和泉市まなび野1-1（和泉キャンパス）
	〒545-0011 大阪市阿倍野区昭和町3-1-57（あべのBDL） 聖テモテ館4階～9階
	〒590-0114 大阪府堺市南区槇塚台4-5-1（堺キャンパス）
桃山学院大学大学院	〒594-1198 大阪府和泉市まなび野1-1（和泉キャンパス）
桃山学院中学校高等学校	〒545-0011 大阪市阿倍野区昭和町3-1-64（昭和町キャンパス）※聖テモテ館1階～3階含む



和泉キャンパス

(2)土地・建物面積（2026年3月31日現在）

名 称	土地面積(㎡)	建物床面積(㎡)
和泉キャンパス	149,056.00	88,369.14
松尾寺グラウンド	35,384.00	719.91
堺キャンパス	37,431.00	17,370.66
昭和町キャンパス	26,395.00	45,319.97
その他土地（奈良/滋賀/長野）	8,254.00	—
計	256,520.00	151,779.68



堺キャンパス



昭和町キャンパス



1. 法人の概要

5. 役員・評議員・会計監査人・理事選任機関の概要 (2026 年 3 月 31 日現在)

(1)役員 (定員 理事：6名以上8名以内、監事：2名以上3名以内)

理 事 長	出 田 善 蔵 (常勤)
学 院 長	磯 晴 久 (非常勤)
理 事	藤原 敏正※ (常勤) / 代表業務執行理事
	中野 瑞彦 (常勤) / 常務理事・桃山学院大学長
	生田 耕三 (常勤) / 常務理事・桃山学院高等学校長
	原 徹 (常勤) / 常務理事・桃山学院事務局長
	飼馬 誠 (非常勤)
	山田 陽彦 (非常勤)
監 事	堀 智子 (非常勤)
	田中 耕※ (常勤)
	戸松 幹孝 (非常勤)

※2025年9月30日開催の理事会において、藤原敏正常勤監事が代表業務執行理事に選任されたことに伴い、同日付の評議員会で常勤監事に田中耕氏が選任された。
※出田善蔵理事長の退任に伴い、2026年3月24日開催の理事会において、藤原敏正代表業務執行理事が理事長に選任された。(2026年4月1日就任)

(2)評議員 (定員 11名)

○理事会において選任した者			
桃山学院大学副学長	辻本 法子		
桃山学院高等学校教頭	北野 晋一郎		
桃山学院総務部長	松田 義弘		
学識経験者	並木 敏昭	三浦 健一	
○評議員会において選任した者			
日本聖公会教役者または信徒	内田 望	小林 聡	
卒業生※	相間 靖三	恩地 宏昌	
学識経験者	長村みさお	高木 俊之	
※旧制桃山中学校卒業生を含む			

(3)会計監査人 (定員 1名)

有限責任監査法人トーマツ ※2025年6月10日開催の定時評議員会において、会計監査人を選出した。

(4)理事選任機関の構成員

理 事 長	出 田 善 蔵
学 院 長	磯 晴 久
評 議 員	長村みさお 高木 俊之

6. 教職員の概要 (2025 年 5 月 1 日現在)

(1)教員数

	学 部	教 授	准教授	講 師	助 教	計	兼任講師	チャプレン
桃山学院大学	国際教養	9	13	3	0	25	336	2
	社会	19	15	2	0	36		
	法	10	7	2	0	19		
	経済	18	14	3	0	35	共通教育機構	
	経営	16	5	4	0	25	契約教員	
	ビジネスデザイン	6	8	2	0	16	20	
	人間教育	19	16	2	2	39		
	共通教育機構	1	1	0	0	2		
	計	98	79	18	2	197		

	教諭(※)	常勤講師	英語科特別教員	計	兼任講師
桃山学院中学校高等学校	76	37	1	114	63

※：チャプレン1名を含む

(2)職員数

所 管	専 任	特定業務	契 約	派 遣	パートタイマー・臨時職員	実習助手	計
法人事務局	24 (※)	4	12	4	6	0	50
桃山学院大学	79	1	36	35	32	2	185
桃山学院中学校高等学校	6	0	1	3	13	3	26
計	109	5	49	42	51	5	261

※：出向者2名を含む



II. 事業の概要

2025 年度における中長期計画、設置学校の主な事業計画および進捗状況等は以下のとおりです。

1. 桃山学院将来構想

2023年度より2027年度までの5か年の中長期計画である「桃山学院将来構想」がスタートしています。本構想は、第一期中長期ビジョン（2005年度-2012年度）、第二期中長期ビジョン（2013年度-2022年度）から続く、本法人における中長期経営計画の第3フェーズ（2023年度-2027年度）であり、これまで中長期ビジョンの中で積み上げてきた、教育研究基盤と確かな実績をもとに、更なる成長と発展に向けた指針を示したものです。

2025年度の主な取り組みと成果は以下の通りです。

<大学部学科構成の最適化>

- ①桃山学院大学人間教育学部を設置（桃山学院大学と桃山学院教育大学の統合）しました。
- ②桃山学院大学工学部の設置が認可されました（2026年4月設置）。
- ③桃山学院大学大学院経済学研究科と経営学研究科を統合し、経済経営学研究科（博士前期課程・博士後期課程）の設置届出を行いました（2026年4月設置）。

<キャンパス整備>

- ①工学部の教育研究拠点となる新校舎の建設工事が着工しました（2026年9月竣工予定）。
- ②松尾寺グラウンドの屋内練習場が竣工しました（2025年5月竣工）。
- ③聖ヨハネ館の空調更新および照明のLED化を実施しました。

<将来構想共創パートナー>

将来構想共創パートナーと以下の取り組みを行いました。※パートナー関連会社との連携を含みます

- ①近隣小学校の児童を対象とした金融教育「おかねの教室」（2025年8月8日）を開催しました（三菱UFJ銀行／和泉市）。
- ②U-35を対象とした社会課題解決や新しい価値づくりを語る場「Talkin' About YOUTH」（2025年10月10日）を開催しました（大阪ガスネットワーク）。
- ③大学キャンパス内に全国で2番目となる「キャンパスドンキ」（2025年11月26日）をオープンしました（ドン・キホーテ／Cloud Pick／NTTデータ／きんでん）。
- ④桃山学院大学卒業生等が母校や後輩、和泉市のこどもの学びの充実を支援するクラウドファンディング事業（ふるさと納税）の実施が決定しました（和泉市）。

<経営基盤改革>

文部科学省令和6年度「少子化時代を支える新たな私立大学等の経営改革支援」の「メニュー2:複数大学等の連携による機能の共同化・高度化を通じた経営改革支援」の採択を受け「複数大学連携シェアードサービス化促進事業」を実施しています。本事業は連携法人（八代学院、平安女学院）と共に主に間接部門のシェアードサービス化等を通じてコスト削減・高効率化を目指すものです（支援期間は2024年度から2028年度まで）。

2025年度は、間接消費財の共同調達の本格運用の開始、共同研修の実施、給与共済・経理業務のシェアードサービス化に向けた取組等を行いました。また、次年度から本格実施する地域連携コーディネーター（高度専門職）の育成を見据えた事業展開、事務組織の強靱化を目的とするバリューチェーン分析に着手しました。

2. 桃山学院大学

■ 教育理念

桃山学院大学では、開学以来「キリスト教精神に基づいて人格を陶冶し、世界の市民として広く国際的に活躍し得る人材の養成」を建学の精神とし、つねに行動力のある「世界の市民」の養成につとめてきました。これまで経験したことのない、新しい国際時代を迎えた今日、言語や文化の違いを超えた「地球社会」への積極的な貢献こそが、本学に求められる重要な使命（ミッション）であると考えます。



学長 中野 瑞彦

■ ミッションステートメント（社会的使命）

桃山学院大学は、自由と愛の精神に基づく学びの場として、ここに集うすべての人の多様な価値観を認め合いながら、向上心を絶やさず、みずから考え、積極的に行動する世界の市民を育むことを使命とする。

■ 学長、副学長、学部長、研究科長（2025 年度）

学 長：中野 瑞彦	経済学部長：吉弘 憲介	法学部長：江藤 隆之	経済学研究科長：大島 一二
副学長：辻井 誠人	社会学部長：大野 哲也	ビジネスデザイン学部長：濱島 敦博	社会学研究科長：安原 佳子
副学長：辻本 法子	経営学部長：中村 恒彦	人間教育学部長：中村 浩也	経営学研究科長：三輪 卓己
副学長：井田 大輔	国際教養学部長：和栗 珠里		文学研究科長：有川 康二

■ 主要課題への取り組み

1. 教育改革

- ①各学部においてカリキュラムの点検・改善を継続的に進めるとともに、各学部の特徴を活かした教育改革を推進しました。
- ②新入生に対する入学前チェックテスト（国・数・英）を内製化することにより、本学の授業支援システム上でテストを実施・結果の可視化を行うなど、学修到達度の自己把握に向けた仕組みを整備しました。
- ③学生の学修成果の評価（アセスメント）について、その目的や達成すべき質的水準、実施方法などについて定めた学内方針である「アセスメントプラン」を制定し、2026 年度の運用開始に向け体制を整備しました。



II. 事業の概要

2. 研究改革・教育研究資産改革

- ①研究評価指標など研究評価制度の実施概要を策定し、研究成果の客観的評価を2026年度は試行的に行うことにいたしました。2027年度の本格実施を目指します。
- ②教員の優れた個別研究の表彰を行うことを目的として、学術研究表彰制度（2026年度開始）を策定しました。

3. 社会貢献活動

- ①子ども向けのスポーツ教室や、中高齢者等を対象とした健康増進プログラムなど、幅広い年代を対象とした様々な社会貢献活動を実施しました。
- ②社会人向け講座として、特定の国家資格取得を目指す講座について2026年10月開講を目指し、準備を進めています。

4. 大学構造改革

教学マネジメント会議を設置し、上述の「アセスメントプラン」やカリキュラム・ツリーを制定するなど教学に関する内部質保証体制を推進しました。
※各学部学科および各研究科の「ディプロマ・ポリシー」、「カリキュラム・ポリシー」、「アドミッション・ポリシー」については、大学Webサイトに公表しています。

3. 桃山学院中学校高等学校

■ 教育理念

桃山学院中学校高等学校では、キリスト教精神を教育の大きな柱として、生徒一人ひとりの人格を尊重し、健やかな心身の成長と豊かな学力の形成をめざすことで社会のために責任ある一員となる人物を育てることを教育の基本方針としています。生徒を信頼し、自由を尊重する民主的な校風のもと、のびのびと学生生活を送ってもらうことで、自らの責任を自覚し、自主的な規律を持ち、それを守っていく良識ある若者を育てていきます。



学校長 生田 耕三

■ ミッションステートメント（社会的使命）

桃山学院中学校高等学校は、自由と愛の精神に基づく学びの場として、生徒一人ひとりを大切に、個々の生徒が持つ多様な可能性を開花させ、健全な社会の実現に貢献できる若者を育成することを使命とする。

■ 校長、教頭、チャプレン、部長、主任（2025年度）

校 長	：生田 耕三	教務部長	：前波 範一	高校3学年主任	：濱井 俊行
高校教頭	：北野晋一郎	生活指導部長	：谷村 憲貴	高校2学年主任	：藤原麻智子
中学教頭	：田中 智晴	進路指導部長	：横山 佳幸	高校1学年主任	：稲田 和宏
チャプレン	：松平 功	自治会指導部長	：橋本 直人	中学主任代表	：鎌野 広和

■ 主要課題への取り組み

1. 進路指導の充実

2026年度入試において、S選抜コースを軸に難関大学に多くの生徒がチャレンジし、京都大学に5名合格、国立難関10大学+国公立医学科（京都大学5名、大阪大学32名、医学科4名を含む）に60名合格、難関私学（早慶上理・関西4私大）に473名（のべ）合格しました。また、中学校の放課後学習の充実を図ると共に、高校の放課後学習の改革にも取り組みました。高校においては従来の自習ステージ、M1ゼミに加え個別学習指導を設置し、その充実・発展に取り組みました。

2. 教員指導力の向上

教員相互の授業見学を実施するとともに、新任教員（常勤12名）が〔授業研究所〕セミナーを受講しました。生徒対象の授業アンケートも実施し、それぞれの評価を教科等で共有、指導力向上に繋げました。

3. グローバル教育の推進

米国聖公会関係学校との交換留学制度は従来の2校に加え、2025年度は更に1校追加し3校との交換留学を実施しました。また、文理・英数コースのカナダ短期研修、国際コースのカナダ短期留学（ターム留学も希望者を募り実施）、希望者対象アジア研修（台湾新宮高校）およびカナダ1年留学を実施しました。その他、一貫コースが交流しているイギリスの学校から生徒が来日し交流しました。

海外からの一般入学生については2026年度5名（中国）が入学しました。国際交流を通して国際社会で活躍できる若者の育成を行っています。また、引き続き米国との交換留学制度を活性化することに注力するとともに、今後も海外からの一般入学生を受け入れ、異文化が共生する環境を創造していきます。

4. 生徒満足度の向上

満足度は、中学生95.1%（昨年92.9%） 高校生92.0%（昨年90.6%）。また保護者アンケートで、「子どもは学校へ行くのを楽しみにしている。」の回答、中学保護者85%（昨年80%）、高校保護者87%（昨年85%）です。いずれも前年より上昇しています。今後もすべての項目において、100%により近づくよう努めます。

5. SDGs 活動への取り組み

- ①2001年設立のスクール・バイ・スクール（SBS）プロジェクトは、発展途上国での学校建設や飲料水確保を目的とした溜池建設を計画・実施しています。また、ウクライナのボプリク校では寄付金により食堂工事が予定通り完了し、食堂開設式が行われました。現在も3か月に1回のペースで同校とは、オンライン交流会を実施しています。
- ②響プロジェクト（AEDの普及及び啓蒙活動）・聖バルナバ病院での思春期講座を実施しました。
- ③使い捨てカイロ・保冷剤・ペットボトルキャップ・使用済み筆記用具のリサイクル活用を実施しました。



III. 財務の概要

1. 決算の概要

(1) 貸借対照表関係

ア) 貸借対照表の状況と経年比較

資産の部合計は891億5,554万円となりました。その内訳は、固定資産745億859万円、流動資産146億4,695万円でした。この内、運用資産残高（現金預金、特定資産、有価証券の合計額）は352億2,328万円で、前年度末から2億3,890万円増加しました。

負債の部合計は前年度末から3億3,331万円減少して61億7,499万円となりました。その内訳は、固定負債32億7,217万円、流動負債29億281万円でした。

なお、本学院は借り入れを行っていないので借入金残高はありません。

純資産の部では、基本金が前年度末から12億9,587万円増加したこと等から、純資産の部合計は829億8,055万円となり、前年度末から14億798万円増加しました。

長期的な財務の健全性を示す指標である純資産構成比率は前年末に比べ0.5%改善し93.1%となりました。短期的な財務の健全性を示す指標である流動比率は前年末に比べ大きく改善し504.6%となりました。これらの指標は過去5年では最も高くなりました。

<貸借対照表の状況> (2021年度～2025年度)

【単位：千円】

科 目	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
資産の部					
固定資産	77,317,381	75,946,606	74,192,748	75,940,581	74,508,592
有形固定資産	53,704,850	52,167,028	51,432,362	52,678,747	52,750,346
土地	23,442,579	23,442,579	23,442,579	23,442,579	23,442,579
建物	22,985,989	21,712,160	20,766,558	21,614,117	20,611,593
構築物	483,004	429,152	386,867	544,838	566,302
備品（教育研究用・管理用）	983,757	773,265	597,561	1,357,850	1,276,698
図書	5,808,167	5,809,097	5,746,427	5,719,356	5,366,577
車両	1,355	775	194	7	6
建設仮勘定	0	0	492,176	0	1,486,592
特定資産	23,469,219	23,669,219	22,669,219	23,169,219	21,669,219
第2号基本金引当特定資産	0	0	0	0	0
第3号基本金引当特定資産	2,225,606	2,225,606	2,225,606	2,225,606	2,225,606
奨学資金引当特定資産	1,100,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000
退職給与引当特定資産	2,800,000	2,800,000	2,800,000	2,800,000	2,800,000
減価償却引当特定資産	17,040,000	17,240,000	16,240,000	16,740,000	15,240,000
危機管理対策資金引当特定資産	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000
将来構想資金引当特定資産	3,613	3,613	3,613	3,613	3,613
その他の固定資産	143,312	110,359	91,167	92,615	89,027
長期貸付金	90,107	86,592	62,421	63,869	70,280
その他（施設利用権他）	53,206	23,766	28,746	28,746	18,746
流動資産	10,206,996	11,524,750	13,472,416	12,140,292	14,646,955
現金預金	9,942,454	11,360,268	13,200,465	11,801,161	13,540,066
未収入金	195,980	86,224	210,567	237,219	1,027,658
短期貸付金	14,731	13,397	8,865	9,107	8,603
その他（前払金他）	53,831	64,861	52,519	92,804	70,628
資産の部合計	87,524,377	87,471,356	87,665,164	88,080,873	89,155,547
負債の部					
固定負債	3,564,467	3,545,773	3,469,350	3,348,343	3,272,176
長期未払金	806,631	728,795	654,476	578,494	498,520
退職給与引当金	2,757,836	2,816,978	2,814,874	2,769,849	2,773,657
流動負債	2,832,788	2,787,537	2,920,694	3,159,961	2,902,813
未払金	360,110	372,837	474,444	593,097	496,413
前受金	1,740,132	1,740,231	1,726,492	1,894,958	1,792,498
その他（預り金関係他）	732,545	674,469	719,758	671,906	613,902
負債の部合計	6,397,255	6,333,310	6,390,044	6,508,304	6,174,990
純資産の部					
基本金	85,740,009	85,738,603	86,237,232	88,003,498	89,299,368
第1号基本金	82,660,429	82,659,023	83,157,652	84,923,918	86,219,788
第2号基本金	0	0	0	0	0
第3号基本金	2,225,606	2,225,606	2,225,606	2,225,606	2,225,606
第4号基本金	853,973	853,973	853,973	853,973	853,973
繰越収支差額	△ 4,612,887	△ 4,600,556	△ 4,962,112	△ 6,430,929	△ 6,318,810
純資産の部合計	81,127,122	81,138,046	81,275,120	81,572,569	82,980,557
負債及び純資産の部合計	87,524,377	87,471,356	87,665,164	88,080,873	89,155,547

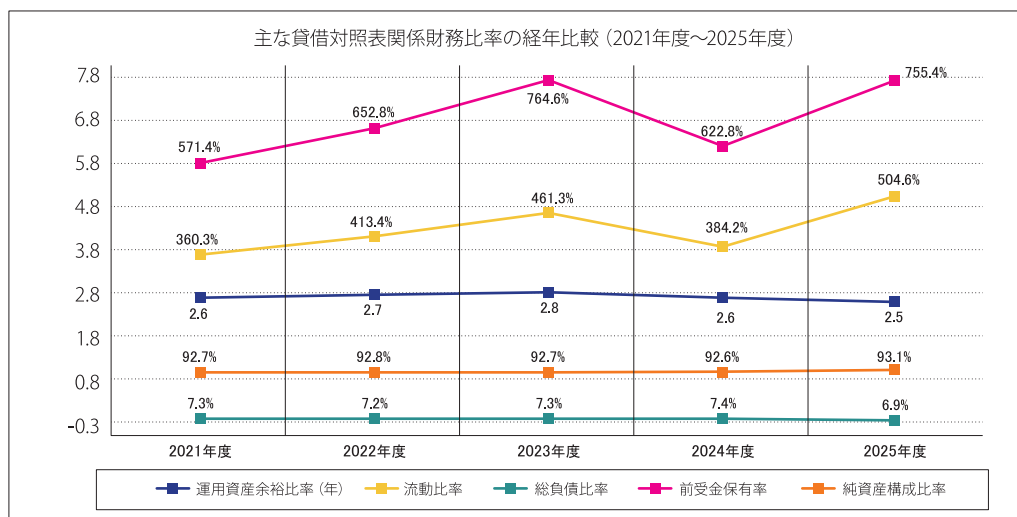


III. 財務の概要

イ) 財務比率の経年比較 (2021年度～2025年度)

比 率	算 式	評価	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
1 運用資産余裕比率 (年)	$\frac{\text{運用資産}-\text{外部負債}}{\text{事業活動支出}}$	↑	2.6	2.7	2.8	2.6	2.5
2 流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	↑	360.3%	413.4%	461.3%	384.2%	504.6%
3 総負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	↓	7.3%	7.2%	7.3%	7.4%	6.9%
4 前受金保有率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	↑	571.4%	652.8%	764.6%	622.8%	755.4%
5 基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	↑	99.3%	99.4%	99.4%	99.5%	99.6%
6 積立率	$\frac{\text{運用資産}}{\text{要積立額}}$	↑	97.0%	97.2%	96.3%	92.9%	90.7%
7 純資産構成比率	$\frac{\text{純資産}}{\text{負債+純資産}}$	↑	92.7%	92.8%	92.7%	92.6%	93.1%

<注> 評価について ↑:高い値が良い ↓:低い値が良い
「運用資産」=現金預金+特定資産+有価証券 「外部負債」=総負債-(退職給与引当金+前受金) 「要積立額」=減価償却累計額+退職給与引当金+第2号基本金+第3号基本金



(2) 事業活動収支計算書関係

ア) 事業活動収支計算書の状況と経年比較

事業活動収支については、経常収支差額が前年度から6億5,403万円増の9億4,935万円となりました。また、特別収支差額も前年度から4億5,650万円増加したため、基本金組入前当年度収支差額は前年度から11億1,053万円増加の14億798万円となりました。

財務状態を示す主な指標である事業活動収支差額比率は、9.3%と過去5年間で最も高くなりました。主な概要は以下の通りとなります。

①教育活動収支の状況

収入面では大学の2025年度入学者数増による学生生徒等納付金の増加、「高等教育の修学支援新制度」対象者拡大に伴う補助金の増加等により、教育活動収入は前年度から11億6,757万円増の141億7,355万円となりました。

一方、支出面では、「高等教育の修学支援新制度」対象者拡大による奨学費の増加、2024年度竣工のエレノア館の減価償却費の計上等により、教育活動支出は前年度から5億3,860万円増の132億8,007万円となりました。

結果、教育活動収支差額は、前年度から6億2,896万円増の8億9,348万円となりました。

②特別収支の状況

収入面では、工学部新棟建設に伴う「大学・高専成長分野転換支援基金助成金」(8億2,190万円)等の特別収入を計上しました。支出面では、大規模な図書整理作業に伴う資産処分差額(3億7,716万円)等の特別支出を計上しました。

結果、特別収支差額は前年度から4億5,650万円増の4億5,863万円となりました。



<事業活動収支計算書の状況> (2021年度～2025年度)

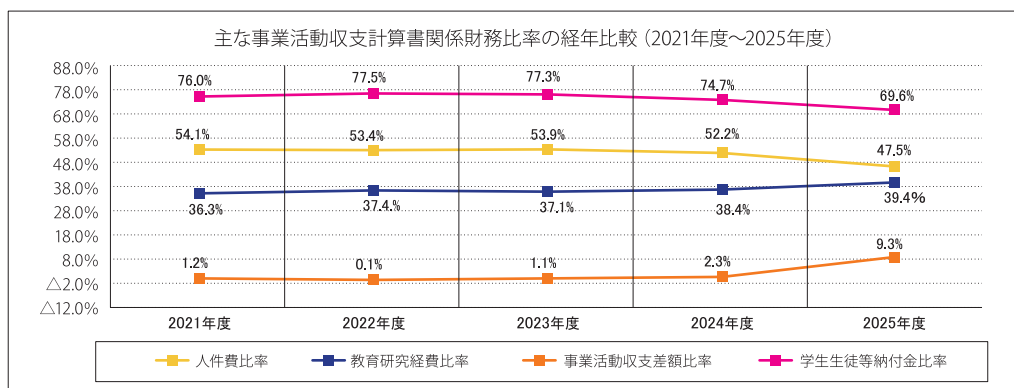
【単位：千円】

科 目		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	9,153,867	9,429,704	9,590,531	9,737,052	9,905,241
		手数料	234,420	192,672	203,973	213,633	235,102
		寄付金	41,862	54,378	57,508	105,227	147,987
		経常費等補助金	2,332,174	2,321,683	2,256,243	2,663,006	3,585,743
		付随事業収入	21,234	36,249	32,738	35,126	40,961
		雑収入	253,140	118,324	237,568	251,939	258,520
		教育活動収入計	12,036,696	12,153,010	12,378,561	13,005,982	14,173,554
	事業活動支出の部	人件費	6,522,202	6,504,717	6,690,188	6,805,066	6,763,805
		(内、退職給与引当金繰入額)	(280,963)	(180,604)	(324,141)	(312,438)	(300,554)
		教育研究経費	4,378,258	4,557,736	4,600,632	5,006,418	5,607,353
		(内、減価償却額)	(1,267,544)	(1,297,742)	(1,184,793)	(1,129,304)	(1,327,413)
		管理経費	986,798	845,272	902,826	929,432	908,915
		(内、減価償却額)	(159,589)	(169,363)	(166,713)	(146,185)	(145,269)
		徴収不能額等	0	0	120	550	0
	教育活動支出計	11,887,259	11,907,724	12,193,766	12,741,465	13,280,073	
	教育活動収支差額		149,437	245,286	184,796	264,517	893,481
教育活動外収支	収入の部	受取利息・配当金	15,681	18,953	26,455	30,804	55,873
		その他の教育活動外収入	0	0	0	0	0
		教育活動外収入計	15,681	18,953	26,455	30,804	55,873
	支出の部	借入金等利息	0	0	0	0	0
		その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0
		教育活動外支出計	0	0	0	0	0
	教育活動外収支差額		15,681	18,953	26,455	30,804	55,873
経常収支差額		165,119	264,239	211,251	295,321	949,354	
特別収支	収入の部	資産売却差額	0	0	0	0	7,017
		その他の特別収入	29,608	34,512	20,053	75,441	838,408
		特別収入計	29,608	34,512	20,053	75,441	845,425
	支出の部	資産処分差額	54,759	52,896	94,231	73,313	386,790
		その他の特別支出	0	234,931	0	0	0
		特別支出計	54,759	287,827	94,231	73,313	386,790
	特別収支差額		△ 25,150	△ 253,315	△ 74,178	2,128	458,635
	基本金組入前当年度収支差額		139,968	10,924	137,073	297,449	1,407,988
	基本金組入額合計		△ 139,052	△ 45,154	△ 498,649	△ 1,772,292	△ 1,295,870
	当年度収支差額		916	△ 34,230	△ 361,576	△ 1,474,843	112,119
前年度繰越収支差額		△ 4,621,455	△ 4,612,887	△ 4,600,556	△ 4,962,112	△ 6,430,929	
基本金取崩額		7,652	46,561	20	6,026	0	
翌年度繰越収支差額		△ 4,612,887	△ 4,600,556	△ 4,962,112	△ 6,430,929	△ 6,318,810	
(参考)							
事業活動収入計		12,081,986	12,206,476	12,425,070	13,112,227	15,074,852	
事業活動支出計		11,942,018	12,195,551	12,287,997	12,814,778	13,666,864	

イ) 財務比率の経年比較 (2021年度～2025年度)

比 率	算 式	評価	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
1 人件費比率	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{経 常 収 入}}$	↓	54.1%	53.4%	53.9%	52.2%	47.5%
2 教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経 常 収 入}}$	↑	36.3%	37.4%	37.1%	38.4%	39.4%
3 管理経費比率	$\frac{\text{管 理 経 費}}{\text{経 常 収 入}}$	↓	8.2%	6.9%	7.3%	7.1%	6.4%
4 事業活動収支差額比率	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事 業 活 動 収 入}}$	↑	1.2%	0.1%	1.1%	2.3%	9.3%
5 学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経 常 収 入}}$	～	76.0%	77.5%	77.3%	74.7%	69.6%
6 経常収支差額比率	$\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経 常 収 入}}$	↑	1.4%	2.2%	1.7%	2.3%	6.7%

<注> 評価について ↑:高い値が良い ↓:低い値が良い ～:どちらとも言えない 「経常収入」＝教育活動収入計＋教育活動外収入計





III. 財務の概要

(3) 資金収支計算書関係

ア) 資金収支計算書の状況と経年比較

2025年度の決算では、翌年度繰越支払資金は前年度より17億3,890万円増加し、135億4,006万円となりました。

まず収入面では、工学部新棟建設に係る「大学・高専成長分野転換支援基金助成金」や、「高等教育の修学支援新制度」の対象者拡大により「補助金収入」が17億3,025万円増加いたしました。また、2026年度開設の工学部新棟建設の対応資金として特定資産を取崩したことなどから、「その他の収入」が15億2,862万円増加しました。

次に支出面では、前述の「高等教育の修学支援新制度」の影響により、教育研究経費支出が4億318万円増加しました。一方で、前年度に実施した大規模な教育研究システム（SAINT）の更新が完了したことから、設備関係支出は7億2,657万円減少しており、これらがあいまって翌年度への繰越資金を押し上げる結果となりました。

なお、教育活動によってどれだけのキャッシュフローが生み出されているかを示す「教育活動資金収支差額比率」は15.5%と過去5年間で最も高くなりました。

<資金収支計算書の状況> (2021年度～2025年度)

【単位：千円】

科 目	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
収入の部					
学生生徒等納付金収入	9,153,867	9,429,704	9,590,531	9,737,052	9,905,241
手数料収入	234,420	192,672	203,973	213,633	235,102
寄付金収入	47,391	61,302	70,182	156,974	157,050
補助金収入	2,346,961	2,340,059	2,256,243	2,677,388	4,407,643
資産売却収入	0	0	0	0	17,328
付随事業・収益事業収入	21,234	36,249	32,738	35,126	40,961
受取利息・配当金収入	15,681	18,953	26,455	30,804	55,873
雑収入	269,501	121,743	298,982	297,572	285,066
借入金等収入	0	0	0	0	0
前受金収入	1,740,132	1,740,231	1,726,492	1,894,958	1,792,498
その他の収入	520,915	266,529	1,198,621	248,061	1,776,685
資金収入調整勘定	△ 1,990,910	△ 1,826,960	△ 1,951,402	△ 1,964,315	△ 2,923,220
前年度繰越支払資金	8,690,214	9,942,454	11,360,268	13,200,465	11,801,161
収入の部合計	21,049,407	22,322,936	24,813,084	26,527,717	27,551,388
支出の部					
人件費支出	6,570,163	6,449,094	6,753,707	6,895,724	6,786,543
教育研究経費支出	3,109,825	3,259,493	3,415,539	3,876,757	4,279,940
管理経費支出	827,209	675,985	736,113	783,247	763,645
借入金等利息支出	0	0	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0	0	0
施設関係支出	130,660	66,430	626,345	1,612,577	1,676,859
設備関係支出	120,706	141,892	77,646	973,655	247,078
資産運用支出	200,000	200,000	5,000	500,000	0
その他の支出	464,158	502,303	451,693	638,386	717,880
資金支出調整勘定	△ 315,768	△ 332,530	△ 453,423	△ 553,790	△ 460,625
翌年度繰越支払資金	9,942,454	11,360,268	13,200,465	11,801,161	13,540,066
支出の部合計	21,049,407	22,322,936	24,813,084	26,527,717	27,551,388

イ) 活動区分資金収支計算書の状況と経年比較
＜活動区分資金収支計算書の状況＞ (2021年度～2025年度)

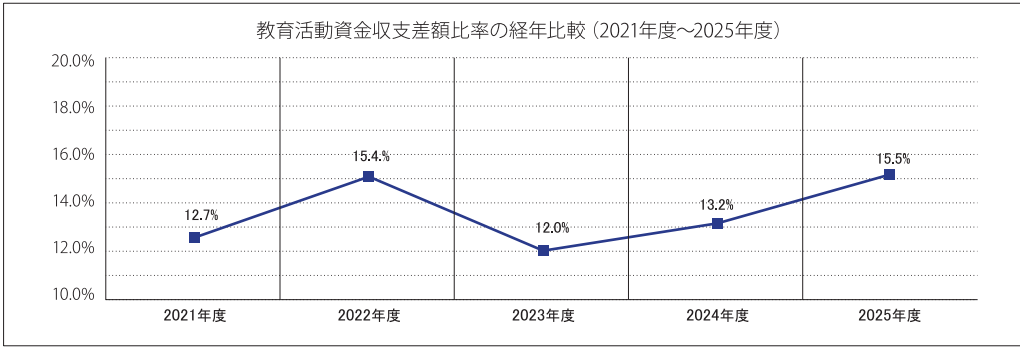
【単位：千円】

科 目		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
資金収支 教育活動による	教育活動資金収入計	12,051,907	12,155,774	12,439,677	13,051,258	14,200,100
	教育活動資金支出計	10,507,196	10,384,342	10,905,359	11,555,728	11,830,129
	差引	1,544,711	1,771,432	1,534,318	1,495,530	2,369,971
	調整勘定等	△ 13,406	105,638	△ 39,154	231,645	△ 162,241
	教育活動資金収支差額	1,531,305	1,877,070	1,495,164	1,727,175	2,207,731
施設整備等活動 による資金収支	施設整備等活動資金収入計	21,207	25,954	1,012,973	66,486	2,331,273
	施設整備等活動資金支出計	451,366	408,322	703,991	3,086,232	1,923,937
	差引	△ 430,160	△ 382,368	308,982	△ 3,019,746	407,336
	調整勘定等	△ 25,855	△ 76,430	△ 55,414	△ 93,722	△ 886,909
	施設整備等活動資金収支差額	△ 456,015	△ 458,798	253,568	△ 3,113,468	△ 479,573
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)		1,075,291	1,418,272	1,748,731	△ 1,386,293	1,728,157
その他の活動 による資金収支	その他の活動資金収入計	256,184	88,898	138,248	67,695	111,752
	その他の活動資金支出計	79,453	89,125	46,950	80,702	101,004
	差引	176,731	△ 227	91,298	△ 13,007	10,748
	調整勘定等	218	△ 231	167	△ 4	0
	その他の活動資金収支差額	176,949	△ 458	91,465	△ 13,011	10,748
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)		1,252,240	1,417,814	1,840,197	△ 1,399,304	1,738,905
前年度繰越支払資金		8,690,214	9,942,454	11,360,268	13,200,465	11,801,161
翌年度繰越支払資金		9,942,454	11,360,268	13,200,465	11,801,161	13,540,066

ウ) 財務比率の経年比較 (2021年度～2025年度)

比 率		算 式	評価	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
1	教育活動資金収支差額比率	$\frac{\text{教育活動資金収支差額}}{\text{教育活動資金収入計}}$	↑	12.7%	15.4%	12.0%	13.2%	15.5%

＜注＞ 評価について ↑：高い値が良い





III. 財務の概要

2. その他

(1) 資産運用の状況

ア) 資産運用の状況

本学院の資産運用は、理事長の統括のもと、職務担当者を設置し、規程に基づいた組織的な運用体制を敷いております。運用対象には「元本償還の確実性」を最優先事項として掲げており、日々の教育研究活動を支えるための流動性を十分に確保しつつ、現在の市場環境に即した収益性にも配慮した運用を行っております。

昨今の金融情勢においては、長らく続いた低金利環境から脱し、市場金利が回復傾向にあるため、安全性と収益性のバランスを維持しながら、安定的な収入の確保および長期的な資産形成を目指した適切な管理・運用を継続して行っております。

なお、当年度の運用実績は以下の通りです。これらの運用益は、本学院の教育環境の充実および健全な財務基盤の維持のために有効に活用しております。

- ・第3号基本金引当特定資産運用収入：9,917,569円
- ・その他の受取利息・配当金：45,955,102円

イ) 有価証券の時価情報

<総括表>

【単位：円】

当年度（令和8年3月31日）			
	貸借対照表計上額	時価	差額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	0	0	0
（うち満期保有目的の債券）	(0)	(0)	(0)
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	7,706,094,740	6,917,427,226	△788,667,514
（うち満期保有目的の債券）	(7,706,094,740)	(6,917,427,226)	(△788,667,514)
合計	7,706,094,740	6,917,427,226	△788,667,514
（うち満期保有目的の債券）	(7,706,094,740)	(6,917,427,226)	(△788,667,514)
時価のない有価証券	14,000,000		
有価証券合計	7,720,094,740		

<明細表>

【単位：円】

当年度（令和8年3月31日）			
種類	貸借対照表計上額	時価	差額
債券	7,706,094,740	6,917,427,226	△788,667,514
株式	—	—	—
投資信託	—	—	—
貸付信託	—	—	—
合計	7,706,094,740	6,917,427,226	△788,667,514
時価のない有価証券	14,000,000		
有価証券合計	7,720,094,740		

(2) 学校債の状況

学校債の発行はありません。

(3) 寄付金の状況

2025年度の寄付金活動は、皆様からの温かいご支援により、総額164,495千円のご寄付がありました。本学院の寄付金活動に対して、皆様の深いご理解とご協力に感謝し、厚く御礼申し上げます。ご支援いただきました寄付につきましては、ご指定いただいた目的に応じて活用させていただきます。

引き続き、本学院の生徒・学生支援および教育研究環境整備のために、寄付金活動を進めてまいりたいと考えています。今後ともご支援賜りますようお願い申し上げます。

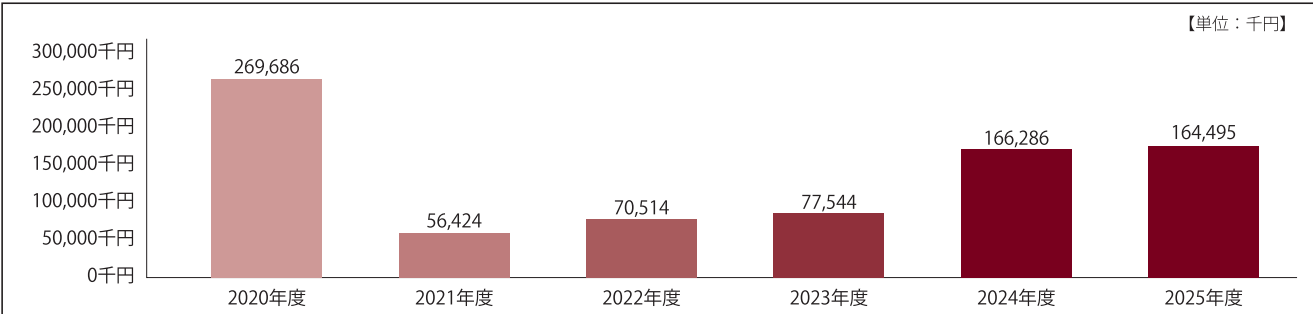
ア) 2025年度寄付金受け入れ状況について

【単位：円】

分 類	寄付項目		金 額
一般寄付	教育振興資金		72,395,838
特別寄付	桃山学院工学部新棟建設支援寄付金		2,040,000
	桃山学院大学 スタートアップ支援寄付金		76,000
	桃山学院 学生・生徒団体等サポート寄付金		3,282,000
	桃山学院 社会貢献活動支援寄付金		2,837,000
	桃山学院 奨学寄付金		410,336
	その他の 使途指定 寄付金	施設・設備関係等	7,022,939
		課外活動関係等	10,763,793
		教育・研究関係等	58,221,923
現物寄付	図書等		7,445,019

イ) 寄付金受け入れ状況の推移（2020年度～2025年度）

【単位：千円】





ウ) 本学院へのご支援に基づく活動の概況について

①桃山学院 大学・高等学校・中学校 教育振興資金	313 件	72,395,838 円
桃山学院大学 2,560,000 円／ 桃山学院高等学校 65,475,838 円／ 桃山学院中学校 4,360,000 円 各学校の施設整備や既存校舎改修などの教育環境整備等の活動を実施しました。		
②桃山学院工学部新棟建設寄付金	20 件	41,060,000 円
2026年9月末の竣工に向けて、新校舎「聖ルカ館」の建設作業を実施しました。		
③桃山学院 学生・生徒団体等サポート寄付金	68 件	3,282,000 円
体育会系の団体としましては、アメリカンフットボール部、ゴルフ部、ハンドボール部、硬式野球部等、文化系の団体としましては、理科研究部(中学校)および吹奏楽部等に対してご寄付を賜り、各団体において活動に必要な器具や消耗品の購入等を実施しました。		
④桃山学院 社会貢献活動支援寄付金	22 件	2,837,000 円
国際ワークキャンプ、インド異文化・ボランティア体験セミナーの活動等を実施しました。		
⑤桃山学院 奨学寄付金	39 件	410,336 円
成績優秀者や交換留学生支援等のために奨学金の支給を実施しました。		

(4) 補助金の状況

経常費補助金など恒常的に交付される補助金の他、以下の補助金が交付されました。

1) 授業料等減免費交付金	1,491,408,100円
大学の高等教育の修学支援新制度に係る補助金の交付を受け、授業料および入学金の減免費用として使用しました。	
2) 大学・高専成長分野転換支援基金助成金	821,900,000円
大学・高専成長分野転換支援基金助成金の交付を受け、新学部(工学部)の新棟建設経費の一部として使用しました。	
3) 若手・女性研究者奨励金	800,000円
若手・女性研究者奨励金の交付を受け、研究費として利用しました。	
4) 大阪府私立高等学校等授業料支援補助金	606,093,896円
大阪府の私立高等学校の授業料無償化制度に係る補助金の交付を受けました。	
5) 大阪府私立学校物価高騰対策一時支援金	2,916,000円
物価高騰の影響を受ける私立学校等を対象とした大阪府私立学校物価高騰対策一時支援金の交付を受けました。 (高等学校:2,196,000円、中学校:720,000円)	

(5) 収益事業の状況

収益事業は行っていません。

3. 経営状況の分析、経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策

本学院は「1.決算の概要」でも述べたとおり、ストックの面で安定した経営状況であるといえます。一方、フローの面でも2021年度からの大学入学定員数増により、学生生徒等納付金が増加傾向にあり、2025年度の事業活動収支差額比率が9.3%を計上するなど、安定した収支状況となっています。

2026年4月には桃山学院大学に初めての理系学部である工学部が開設され、総合大学として規模のメリットを活かした効率的な大学運営を実施し、経費削減だけでなく、資産運用、補助金や寄付金などの外部資金の獲得などに取り組むことで、さらに安定した財務基盤の確立に繋がってまいります。



III. 財務の概要

4. 定量的な経営判断指標に基づく経営状態の区分（法人全体）

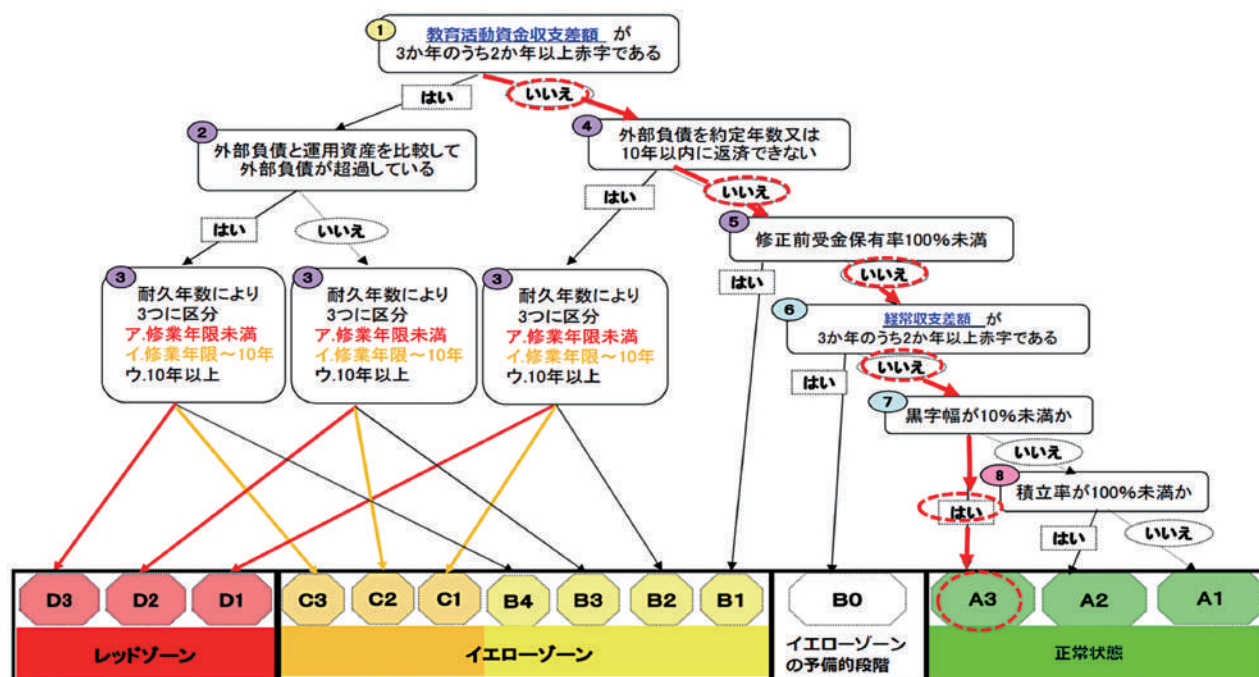
以下のフローチャートは、私立学校の経営状態を把握・分析するための資料として、日本私立学校振興・共済事業団が提供する「定量的な経営判断指標に基づく経営状態の区分」です。

(引用：https://www.shigaku.go.jp/files/s_center_shihyo27-1.pdf)

これによると、2025年度の本学の経営状態は2024年度に続き「A3」に区分され、正常な経営状態であることが分かります。

(1) 2025年度の経営状態区分について

2025年度の本学院のフローチャートを赤色矢印で示しています。



(2) 2023～2025年度の経営判断指標と経営状態区分について

過去3年間の経営判断指標と経営状態区分は以下の通りです。

【金額単位：百万円】

経営判断指標とその基準	2023年度	2024年度	2025年度
①教育活動資金収支差額 ※1 (3か年のうち2か年以上赤字である)	1,495 いいえ	1,727 いいえ	2,208 いいえ
④外部負債 ※2 (約定年数又は10年以内に返済できない)	1,129 いいえ	1,172 いいえ	995 いいえ
⑤修正前受金保有率 ※3 (100%未満)	2079% いいえ	1847% いいえ	1965% いいえ
⑥経常収支差額 ※4 (3か年のうち2か年以上赤字である)	211 いいえ	295 いいえ	949 いいえ
⑦黒字幅 (経常収支差額が10%未満か))	1.7% はい	2.3% はい	6.7% はい
区 分	A3	A3	A3

※1 教育活動資金収支差額＝活動区分資金収支計算書の「教育活動による資金収支」区分の収支差額

※2 外部負債＝借入金+学校債+未払金+手形債務

※3 修正前受金保有率＝運用資産（現金預金＋特定資産＋有価証券）÷前受金

※4 経常収支差額＝経常収入（教育活動収入計＋教育活動外収入計）－経常支出（教育活動支出計＋教育活動外支出計）

※5 積立率＝運用資産 ÷ 要積立額（減価償却累計額＋退職給付引当金＋第2号基本金＋第3号基本金）

IV.学校法人の業務の適正を確保するための体制（内部統制システム）の整備及び運用状況の概要

本法人における内部統制システムの整備及び運用状況は以下のとおりです。

1. 関係する決議の概要

本法人は2025年3月25日開催の理事会において、理事の職務執行が法令・寄附行為に適合することおよび業務の適正を確保するため「内部統制システム整備の基本方針」を決議しました。本基本方針に基づき、内部統制システムの整備及びその適切な運用に努めています。

2. 体制整備及び運用状況の概要

①理事の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制

基本方針	運用状況の概要
理事会、評議員会等の重要会議の議事録その他理事の職務執行に係る情報については、寄附行為および「理事会会議規則」ならびに「文書保存規程」に基づき、適切に作成・保存および管理する。	重要会議の議事録等の書類は、寄附行為をはじめとする関連諸規程に基づき、適切に作成・保存し、必要な関係者が閲覧できる体制を確保しています。

②損失の危険の管理に関する規程その他の体制

基本方針	運用状況の概要
- リスク管理に関し、体制およびリスク管理に係る諸規程を整備し、役割権限、リスクの評価方法、リスク対応方法等を明確にする。 「個人情報保護規則」および「個人番号および特定個人情報取扱規則」に基づき、個人情報の保護と適切な管理を行う。 - 事業活動に関するリスクについては、法令および本法人の規程等に基づき、職務執行部署が自律的に管理することを基本とする。 - リスクの統括管理については、理事長が行うとともに、重要リスクが漏れなく適切に管理されているかを適宜確認する。 - 本法人の経営に重大な影響を及ぼすおそれのある重要リスクについては、理事会で審議し、必要に応じて対策等の必要な事項を決定する。 - 災害、事故その他の緊急時に備え、対応組織や情報連絡体制等について規程等を定めるとともに、継続的な教育と定期的な訓練を実施する。 - 研究活動について、内部牽制機能による研究費の適正経理および研究不正の防止を確保するため、規程等を定めるとともに、必要な措置を講じる。 - 各学校長および事務局長は、業務執行に関するリスクを特定し、必要に応じてリスクおよびリスク管理体制について見直しを行う。	- 様々なリスクに適切に対応するため、「リスク管理規程」、「危機管理規程」等の諸規程を整備し、「海外における事故等緊急事態対応マニュアル」の改訂等を適宜実施しながら、リスクの顕在化の防止に取り組んでいます。 「個人情報保護規則」、「個人番号および特定個人情報取扱規則」および「情報セキュリティ対策基準」等に基づき、個人情報を適切に取り扱っています。 - 新学部開設や重要な資産の処分等、本学の経営に重大な影響を及ぼすおそれのある事項については、理事会に必要な情報を適時適切に開示し、審議しています。 「防火・防災管理規則」に基づき、防火・防災対策委員会、自衛消防組織を設置するとともに、自衛消防業務講習等の受講、全教職員および学生を対象とした年1回の避難訓練等を実施しています。 「桃山学院大学における競争的研究費補助金等の取り扱いに関する規程」に基づき、研究費を適切に管理するとともに、研究費の管理運営体制について内部監査を実施しています。

③理事の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制

基本方針	運用状況の概要
- 理事会は、定時に開催するほか、必要に応じて臨時に開催し、法令・寄附行為に従い、必要な事項については評議員会の意見を聴いたうえで、業務執行上の重要事項を審議・決定するとともに、理事の職務執行を監督する。 - 寄附行為および「寄附行為細則」に基づき、理事会および評議員会の役割、権限および体制を明確にし、適切な理事会および評議員会の運営を行う。 「寄附行為細則」に基づき、業務を執行する理事の権限と責任を規定し、事業運営の適切かつ迅速な推進を図る。 - 職務分掌・決裁権限を明確にし、理事、職員等の職務執行の適正性を確保するとともに、機動的な業務執行と有効性・効率性を高める。 - 業務執行機関からの独立性を有する内部監査部門を設置し、業務の適正および効率性を確保するため、業務を執行する各部の職務執行状況等を必要に応じて監査する。	- 理事会は年間予定に基づいて基本的に月1回開催し、また、必要に応じて臨時に開催しています。 ＜2025年度開催数＞14回 - 必要に応じて評議員会に諮問したうえで、法令または寄附行為に定められた事項および重要事項について意思決定を行うとともに、理事の職務執行を監督しています。 ＜2025年度開催数＞8回 - 寄附行為および寄附行為細則に基づき、業務執行理事（常務理事）の権限と責任を規定し、機動的に業務執行できる体制を構築しています。 - 監査室を設置し、各部の職務執行状況等を監査しています。



IV.学校法人の業務の適正を確保するための体制（内部統制システム）の整備及び運用状況の概要／附属明細書

④職員の職務の執行が法令及び寄付行為に適合することを確保するための体制

基本方針	運用状況の概要
・理事および職員が法令ならびに寄附行為および本法人の規程を遵守し、確固たる倫理観をもって事業活動等を行う組織風土を高めるために、「コンプライアンス推進規程」を定める。 ・本法人のすべての役職員のコンプライアンス意識の醸成と定着を推進するため、不正防止等に関わる役職員への教育および啓発活動等を実施し、周知徹底を図る。 ・本法人の内外から匿名相談できる通報窓口を常設して、不正の未然防止を図るとともに、速やかな調査と是正を行う体制を推進する。通報窓口または監事に対しコンプライアンスに関する相談または違反に係る通報をしたことを理由に、不利益な取扱いを行わない。 ・内部監査部門は、監査の結果、コンプライアンス違反に関する指摘事項等を発見した場合は、その内容を理事長に報告する。理事長は、当該監査結果を踏まえ、所要の改善を図るよう関連部署の長に指示する。 ・法令・寄附行為違反等の行為が発見された場合には、関連諸規程に従い、迅速に状況を把握するとともに、必要に応じて外部専門家と協力しながら適正に対応する。	・「コンプライアンス推進規程」を整備してイントラネットに掲載し、ハラスメント防止研修等を実施しています。 ・「公益通報等に関する規程」を整備し、監査室（案件に応じて常勤監事）を通報窓口としています。 ・監査室は、理事長に対して内部監査の状況等を定期的に報告し、コンプライアンス違反等の早期発見およびその改善を図る体制を構築しています。

⑤監事の監査が実効的に行われることを確保するための体制

基本方針	運用状況の概要
・監事は、「監事監査基準」に基づき、公平不偏の立場で監事監査を行う。 ・監事は、理事会、評議員会等の重要会議への出席ならびに重要書類の閲覧、審査および質問等を通して、理事等の職務執行についての適法性、妥当性に関する監査を行う。 ・監事は、理事会が決定する内部統制システムの整備について、その決議および決定内容の適正性について監査を行う。 ・監事は、重要な書類および情報について、その整備・保存・管理および開示の状況など、情報保存管理体制および情報開示体制の監査を行う。 ・理事または職員等は、本法人に著しい損害を与えるおそれのある事実または法令、寄附行為その他の規程等に反する行為等を発見したときは、直ちに理事長、常務理事および常勤監事に報告する。 ・理事および職員等は、職務執行状況等について、常勤監事が報告を求めた場合には、速やかにこれに応じる。 ・理事長は、定期的に常勤監事と会合を持つなどにより、事業の遂行と活動の健全な発展に向けて意見交換を図り、相互認識を深める。 ・監事がその職務の執行について必要な費用を確保する。	・監事は、「監事監査基準」および年度毎に作成する「監事監査計画」に基づき、監事監査を実施しています。 ・監事は、理事会等の重要会議への出席、重要書類の閲覧および質問等を行い、理事等の職務執行状況に関する監査を実施しています。 ・理事長と常勤監事は、理事会等の重要会議の議題について適宜意見交換を行い、相互認識を深めています。

3. モニタリングと改善

内部監査及び監事監査等の結果、内部統制システム整備の基本方針等を見直す必要がある場合は、理事会の決議により改正します。

附属明細書

事業報告書の内容を補足する重要な事項はございません。



V. データで見る桃山学院

1. 入学定員・収容定員・入学者数・在籍者数（2025年5月1日現在）

学 部	学 科	入学定員(名)	収容定員(名)	1年次	2年次	3年次	4年次	入学者数	編・転入学者数	在籍者数
桃山学院大学	国際教養	英語・国際文化	275	1,100	275	275	275	275	3	1,043
	社会	社会	260	1,040	260	260	260	299	1	1,127
		ソーシャルデザイン	100	400	100	100	100	84	2	371
	法	法律	200	800	200	200	200	232	4	865
	経済	経済	360	1,440	360	360	360	423	3	1,547
	経営	経営	295	1,180	295	295	295	349	4	1,300
	ビジネスデザイン	ビジネスデザイン	200	800	200	200	200	221	2	802
	人間教育	人間教育	270	1,080	270	270	270	322	0	1,061
	計		1,960	7,840				2,227	19	8,116
	交換留学生		—	—	—	—	—	—	—	32

※2022年度 社会学部学科名称変更(社会福祉学科→ソーシャルデザイン学科)
※2025年度 人間教育学部を設置(桃山学院教育大学を統合)

研究科		専 攻	入学定員(名)	収容定員(名)	入学者数	在籍者数
桃山学院大学 大学院 博士前期課程	文学	言語・文化	10	20	2	3
	社会学	応用社会学	10	20	8	23
	経済学	応用経済学	10	20	14	21
	経営学	経営学	10	20	5	11
	計		40	80	29	58
	交換留学生		—	—	—	2
研究生		—	—	—	6	

研究科		専 攻	入学定員(名)	収容定員(名)	入学者数	在籍者数
桃山学院大学 大学院 博士後期課程	文学	比較文化学	4	12	0	0
	社会学	応用社会学	3	9	2	6
	経済学	応用経済学	3	9	6	13
	経営学	経営学	3	9	0	0
	計		13	39	8	19
	研究生		—	—	—	2

課程・学科	入学定員(名)	収容定員(名)	入学者数	在籍者数	
桃山学院中学校	120	360	126	372	
桃山学院高等学校	全日制普通科	760	2,280	615	1,967

2. 収容定員充足率（毎年度5月1日現在）

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
桃山学院大学	104.4%	104.6%	103.9%	103.1%	103.5%
桃山学院大学大学院/博士前期課程	56.3%	67.5%	55.0%	51.3%	73.8%
桃山学院大学大学院/博士後期課程	48.7%	56.4%	46.2%	35.9%	48.7%

3. 入試状況（2022年度～2026年度入学）

■ 桃山学院大学 ＜全制度合計（編・転入学除く）＞

学部	学科	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
国際 教養	英語・ 国際文化	募集人員	275	275	275	220
		志願者数	1,700	1,252	1,179	1,302
		受験者数	1,645	1,209	1,156	1,271
		合格者数	1,254	1,105	950	997
		倍 率	1.3	1.1	1.2	1.3
		入学者数	237	242	283	297
社会	社会	募集人員	260	260	260	240
		志願者数	2,859	1,673	1,792	1,437
		受験者数	2,805	1,636	1,757	1,409
		合格者数	1,135	1,086	610	823
		倍 率	2.5	1.5	2.9	1.7
		入学者数	285	297	238	299
社会	ソーシャル デザイン	募集人員	100	100	100	100
		志願者数	377	452	579	428
		受験者数	350	437	560	421
		合格者数	303	376	330	312
		倍 率	1.2	1.2	1.7	1.3
		入学者数	88	94	102	84
法	法律	募集人員	200	200	200	180
		志願者数	1,901	1,203	1,222	1,312
		受験者数	1,856	1,178	1,184	1,271
		合格者数	1,134	1,030	796	900
		倍 率	1.6	1.1	1.5	1.4
		入学者数	209	209	214	232
経済	経済	募集人員	360	360	360	340
		志願者数	3,550	2,559	2,372	2,305
		受験者数	3,475	2,503	2,306	2,252
		合格者数	1,661	1,534	947	927
		倍 率	2.1	1.6	2.4	2.4
		入学者数	377	378	358	423
経営	経営	募集人員	295	295	295	280
		志願者数	3,110	1,995	1,909	2,175
		受験者数	3,058	1,963	1,869	2,130
		合格者数	926	889	842	881
		倍 率	3.3	2.2	2.2	2.4
		入学者数	318	359	294	349
ビジネス デザイン	ビジネス デザイン	募集人員	200	200	200	170
		志願者数	899	769	1,121	1,375
		受験者数	872	749	1,015	1,295
		合格者数	763	655	798	595
		倍 率	1.1	1.1	1.3	2.2
		入学者数	202	173	217	221
小学校 教育	小学校 教育	募集人員	—	—	—	120
		志願者数	—	—	—	821
		受験者数	—	—	—	800
		合格者数	—	—	—	450
		倍 率	—	—	—	1.8
		入学者数	—	—	—	130
人間 教育・ 人間 教育※1	幼児 教育	募集人員	—	—	—	30
		志願者数	—	—	—	185
		受験者数	—	—	—	183
		合格者数	—	—	—	101
		倍 率	—	—	—	1.8
		入学者数	—	—	—	43
健康・ スポーツ 教育	健康・ スポーツ 教育	募集人員	—	—	—	120
		志願者数	—	—	—	856
		受験者数	—	—	—	839
		合格者数	—	—	—	258
		倍 率	—	—	—	3.3
		入学者数	—	—	—	149
工※2	工	募集人員	—	—	—	160
		志願者数	—	—	—	809
		受験者数	—	—	—	748
		合格者数	—	—	—	596
		倍 率	—	—	—	1.3
		入学者数	—	—	—	95
合計	合計	募集人員	1,690	1,690	1,690	1,960
		志願者数	14,396	9,903	10,174	12,196
		受験者数	14,061	9,675	9,847	11,871
		合格者数	7,176	6,675	5,273	6,244
		倍 率	2.0	1.4	1.9	1.9
		入学者数	1,716	1,752	1,706	2,227

※1 2025年度 人間教育学部設置。
※2 2026年度 工学部設置。



V. データで見る桃山学院

■ 桃山学院大学大学院 <全入試制度合計（秋入学除く）>

研究科・課程		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	研究科・課程		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
文学	募集人員	10	10	10	10	10	経済学	募集人員	10	10	10	10	—
	志願者数	2	5	1	3	3		志願者数	16	5	6	19	—
	受験者数	2	5	1	2	3		受験者数	15	5	6	18	—
	合格者数	2	4	1	2	2		合格者数	9	3	4	16	—
	倍 率	1.0	1.3	1.0	1.0	1.5		倍 率	1.7	1.7	1.5	1.1	—
	入学者数	2	4	1	2	2		入学者数	8	2	3	14	—
	募集人員	4	4	4	4	4		募集人員	3	3	3	3	—
	志願者数	0	0	0	0	0		志願者数	1	2	1	6	—
	受験者数	0	0	0	0	0		受験者数	1	2	1	6	—
	合格者数	0	0	0	0	0		合格者数	1	2	1	6	—
社会学	倍 率	—	—	—	—	—	経営学	倍 率	1.0	1.0	1.0	1.0	—
	入学者数	0	0	0	0	0		入学者数	1	2	1	6	—
	募集人員	10	10	10	10	10		募集人員	10	10	10	10	—
	志願者数	33	18	30	21	13		志願者数	22	7	14	11	—
	受験者数	32	16	30	17	12		受験者数	20	5	13	9	—
	合格者数	8	7	16	9	5		合格者数	11	4	8	5	—
	倍 率	4.0	2.3	1.9	1.9	2.4		倍 率	1.8	1.3	1.6	1.8	—
	入学者数	6	6	11	8	5		入学者数	9	3	6	5	—
	募集人員	3	3	3	3	3		募集人員	3	3	3	3	—
	志願者数	0	0	2	2	1		志願者数	0	0	0	0	—
経済経営学※	受験者数	0	0	2	2	1	合計	受験者数	0	0	0	0	—
	合格者数	0	0	1	2	1		合格者数	0	0	0	0	—
	倍 率	—	—	2.0	1.0	1.0		倍 率	—	—	—	—	—
	入学者数	0	0	1	2	1		入学者数	0	0	0	0	—
	募集人員	—	—	—	—	10		募集人員	40	40	40	40	30
	志願者数	—	—	—	—	21		志願者数	73	35	51	54	37
	受験者数	—	—	—	—	21		受験者数	69	31	50	46	36
	合格者数	—	—	—	—	14		合格者数	30	18	29	32	21
	倍 率	—	—	—	—	1.5		倍 率	2.3	1.7	1.7	1.4	1.7
	入学者数	—	—	—	—	11		入学者数	25	15	21	29	18
経済経営学※	募集人員	—	—	—	—	4	博士後期	募集人員	13	13	13	13	11
	志願者数	—	—	—	—	2		志願者数	1	2	3	8	3
	受験者数	—	—	—	—	2		受験者数	1	2	2	8	3
	合格者数	—	—	—	—	2		合格者数	1	2	2	8	3
	倍 率	—	—	—	—	1.0		倍 率	1.0	1.0	1.5	1.0	1.0
	入学者数	—	—	—	—	2		入学者数	1	2	2	8	3
	募集人員	—	—	—	—	10		募集人員	40	40	40	40	30
	志願者数	—	—	—	—	21		志願者数	73	35	51	54	37
	受験者数	—	—	—	—	21		受験者数	69	31	50	46	36
	合格者数	—	—	—	—	14		合格者数	30	18	29	32	21

※ 2026年度 経済学研究科と経営学研究科を改組(統合)して経済経営学研究科を設置。

■ 桃山学院中学校高等学校

		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
中学校	募集人員	120	120	120	120	140
	志願者数	564	560	620	668	651
	受験者数	430	418	476	534	487
	合格者数	280	286	277	291	320
	倍 率	1.5	1.5	1.7	1.8	1.5
	入学者数	122	128	126	128	143
高等学校	募集人数	400	400	400	400	400
	志願者数	1,770	1,922	1,917	1,772	1,806
	受験者数	1,729	1,888	1,874	1,747	1,788
	合格者数	1,707	1,868	1,846	1,700	1,760
	倍 率	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
	入学者数	575	609	581	507	547

(参考)

■ 桃山学院教育大学 <全制度合計（編・転入学除く）>

学部・学科 課程		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
小学校教育	募集人員	140	140	120	120
	志願者数	982	696	415	683
	受験者数	946	684	413	655
	合格者数	673	614	363	351
	倍 率	1.4	1.1	1.1	1.9
	入学者数	135	101	101	123
人間教育・人間教育	募集人員	50	50	30	30
	志願者数	143	134	63	99
	受験者数	141	130	63	97
	合格者数	107	119	54	88
	倍 率	1.3	1.1	1.2	1.1
	入学者数	21	28	23	34
健康・スポーツ教育	募集人員	80	80	120	120
	志願者数	440	368	296	340
	受験者数	422	354	291	333
	合格者数	265	281	253	223
	倍 率	1.6	1.3	1.2	1.5
	入学者数	93	118	119	127
合計	募集人員	270	270	270	270
	志願者数	1,565	1,198	774	1,122
	受験者数	1,509	1,168	767	1,085
	合格者数	1,045	1,014	670	662
	倍 率	1.4	1.2	1.1	1.6
	入学者数	249	247	243	284

4. 就職状況 (2025 年度)

■ 桃山学院大学

□実績 (対象：留年生を除く4年次生のみ) (2026年5月22日現在) ※()内は2024年度確定数字

・卒業生数 [a]	1,561名 (1,483名)	・進学者数	33名 (30名)
・就職希望者数 [b]	1,452名 (1,369名)	（うち、大学院進学者数）	21名 (26名)
・就職決定者数 (自営含む) [c]	1,433名 (1,355名)	・就職決定率 (分母：希望者) [c/b]	98.7% (99.0%)
		・就職決定率 (分母：卒業者) [c/a]	91.8% (91.4%)

□主な就職先

【建設業】

清水建設(株)、鉄建建設(株)、(株)銭高組、(株)中電工、鹿島道路(株)、前田道路(株)、パナソニックホームズ(株)、積水ハウス(株)、住友林業ホームテック(株)、(株)ミライト・ワン、東亜道路工業(株)、明星工業(株)、(株)一条工務店

【製造業】

(株)ジェイテクト、(株)豊田自動織機、ヤンマーホールディングス(株)、三井化学(株)、大陽日酸(株)、住友電装(株)、スズキ(株)、(株)島精機製作所、不二製油(株)、アマノ(株)、山崎製パン(株)、(株)T M E I C、(株)浅野歯車工作所、マスプロ電工(株)、牛乳石鹼共進社(株)、(株)ジェイテクトマシシステム、寺崎電気産業(株)、(株)ホギメディカル、大日本塗料(株)、ニチアス(株)、(株)ヨータイ、三浦工業(株)、日東工業(株)、(株)十川ゴム、T O N E (株)、日鉄鋼板(株)、フルタ製菓(株)、(株)モリタホールディングス、(株)サトー、フランスベッド(株)、(株)リブドゥコーポレーション、ネグロス電工(株)、三協立山(株)、オリエンタルモーター(株)、ロツクペイント(株)、ニチレキグループ(株)、日本伸銅 (株)、クリナップ(株)、旭ダイヤモンド工業(株)

【卸売業】

因幡電機産業(株)、(株)日伝、(株)ゴールドウイン、三井物産流通グループ(株)、矢崎総業(株)、(株)内田洋行、渡辺パイプ(株)、(株)トヨタユーズック、住商メタルワン銅管(株)、サンコーインダストリー(株)、岡本無線電機(株)、(株)山星屋、宇仁繊維(株)、(株)スズケン、ヤンマーエネルギーシステム(株)、ダイワボウ情報システム(株)、(株)ジーシー、(株)ケーエスケ、(株)カナデン、ナブコドア(株)、シークス(株)、大陽日酸ガス&ウェルディング(株)、(株)サンセイテクノス、いすゞ自動車近畿(株)、三菱重工冷熱(株)、(株)扶洋

【小売業】

(株)ファーストリテイリング、(株)ニトリ、イオンリテール(株)、(株)万代、上新電機(株)、コーナン商事(株)、(株)クスリのアオキ、(株)ライフコーポレーション、(株)パルニバ、ウエルシア薬局(株)、(株)イトーヨーカ堂、(株)ヨドバシカメラ、(株)ツツミ、(株)スギ薬局

【金融・保険業】

(株)関西みらい銀行、(株)池田泉州銀行、(株)紀陽銀行、(株)南都銀行、(株)百十四銀行、(株)香川銀行、(株)イオン銀行、(株)ゆうちょ銀行、京都中央信用金庫、大阪信用金庫、大阪シティ信用金庫、尼崎信用金庫、きのくに信用金庫、東京シティ信用金庫、のぞみ信用組合、いずみの農業協同組合、大阪南農業協同組合、和歌山県農業協同組合、野村證券(株)、東海東京証券(株)、いちよし証券(株)、あいおいニッセイ同和損害保険(株)、公益財団法人日本中小企業福祉事業財団

【不動産業】

積水ハウス不動産(株)、住友林業ホームサービス(株)、(株)共立メンテナンス、パナソニックホームズ不動産(株)、セキスイハイム不動産(株)、J R 西日本 S C 開発(株)、住友不動産ステップ(株)

【運輸・通信業】

K D D I (株)、全日本空輸(株)、西日本旅客鉄道(株)、四国旅客鉄道(株)、日本貨物鉄道(株)、近畿日本鉄道(株)、日本郵便(株)、西鉄物流(株)、センコー(株)、サントリーロジスティクス(株)、(株)フジトランスコーポレーション、ヤマト運輸(株)、日本通運(株)、A N A ウイングス(株)、(株)K スカイ、N X ・N P ロジスティクス(株)、A N A 関西空港(株)

【電気・ガス・水道業】

関西電力(株)、大阪ガスネットワーク(株)

【マスコミ・公益・その他サービス業】

伊藤忠テクノソリューションズ(株)、紀陽情報システム(株)、(株)インソース、N E C ネクサソリューションズ(株)、(株)クリーク・アンド・リバー社、(株)三機サービス、(株)マイナビ、(株)フキタ、(株)テイクアンドグヴ・ニーズ、一般財団法人日本モーターボート競走会、A L S O K (株)、オムロンフィールドエンジニアリング(株)、(株)船井総合研究所、イオンディライト(株)、奥村機械(株)、山口県商工会連合会、(株)ダスキン、(株)ミロク情報サービス、兵庫県商工会連合会、日本年金機構、(株)スタジオアリス、大阪ガスビジネスクリエイト(株)、フジモトHD(株)、コナミスポーツ(株)、日本下水道事業団

【教職・教育関係】

大阪府教育庁、大阪府教育委員会、堺市教育委員会、兵庫県教育委員会、滋賀県教育委員会、北海道教育委員会、東京都教育委員会、横浜市教育委員会、川崎市教育委員会、名古屋市教育委員会、岡山県教育委員会、広島県教育委員会、鳥取県教育委員会、島根県教育委員会、高知県教育委員会、大分県教育委員会、鹿児島県教育委員会

【保育・医療・福祉関係】

社会医療法人生長会、社会福祉法人和歌山県福祉事業団、独立行政法人地域医療機能推進機構、大阪府歯科保険医協会、独立行政法人国立病院機構、大阪府国民健康保険団体連合会、社会医療法人若弘会、社会福祉法人泉陽会、S O M P O ケア(株)

【公務】

労働基準監督官、国税専門官、特別区一類、大阪府庁、和歌山県庁、奈良県庁、大阪府役所、堺市役所、岸和田市役所、泉大津市役所、富田林市役所、河内長野市役所、東大阪市役所、枚方市役所、泉佐野市役所、貝塚市役所、阪南市役所、橿原市役所、宇陀市役所、紀の川市役所、今治市役所、宮崎市役所、大阪府警察本部、警視庁、奈良県警察本部、京都府警察本部、和歌山県警察本部、和泉市消防本部、茨木市消防本部、守口市門真市消防組合消防本部、佐世保市消防局、自衛隊



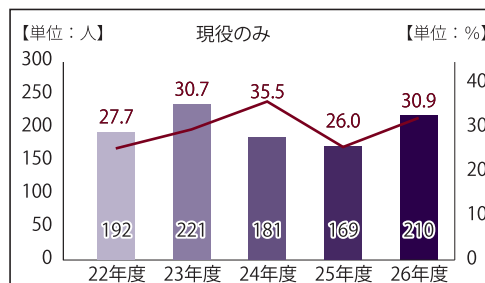
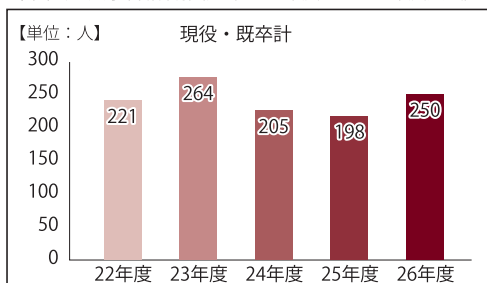
5. 大学入試合格状況（2026 年度入試）

■ 桃山学院高等学校

※合格者数は延べ数で表記（2026 年 5 月 25 日現在）

大学名	S選抜/S英数/英数/文理/国際コース（3ヶ年の15クラス）			中高一貫コース（6ヶ年の3クラス、S選抜4名含む）			総 計	
	現役	既卒	合計	現役	既卒	合計	現役	既卒
国公立大学 合計	185	36	221	25	4	29	210	40
京都大	4	1	5				4	1
大阪大	21	2	23	7	2	9	28	4
北海道大	1		1				1	0
東京科学大		1	1				0	1
神戸大	9	7	16	1		1	10	7
宮崎大（医-医）		1	1				0	1
大分大（医-医）		1	1				0	1
大阪教育大	15	2	17	2		2	17	2
和歌山大	26	2	28	1		1	27	2
奈良女子大	2		2	1		1	3	0
大阪公立大	37	6	43	2	2	4	39	8
兵庫県立大	4	1	5	1		1	5	1
神戸市外大	1		1				1	0
奈良県立医大（医-医）	1		1				1	0
和歌山県立医大（医-医）	1		1				1	0
和歌山県立医大（薬）	3		3	1		1	4	0
その他の国公立	60	12	72	9		9	69	12
私立大学 合計	1,119	174	1,293	222	36	258	1,341	210
関西大	134	13	147	8	5	13	142	18
関西学院大	63	14	77	18	1	19	81	15
同志社大	61	16	77	4	7	11	65	23
立命館大	98	16	114	8	4	12	106	20
早稲田大	2		2				2	0
東京理大				1		1	1	0
国際基督教大	1		1		1	1	1	1
明治大	2	1	3				2	1
立教大	5		5	1		1	6	0
中央大	5	1	6				5	1
法政大	1	1	2				1	1
近畿大（医-医含む）	329	63	392	76	14	90	405	77
桃山学院大	78	8	86	24		24	102	8
その他の私立大	340	41	381	82	4	86	422	45
各省庁所管の大学校 合計	1	1	2	1	0	1	2	1
防衛医科大学校				1		1	1	0
防衛大学校	1	1	2				1	1
海外大学 合計	8	0	8	1	0	1	9	0
The University of Melbourne	1		1				1	0
The University of New South Wales	1		1				1	0
Taylor's University	5		5			1	6	0
その他の海外大学	1		1	1			1	0

◆国公立大学合格者推移（2022 年度～ 2026 年度入試）



※折れ線グラフの数値＝現役国公立合格者数/卒業生数



6. 国際交流（2025 年度）

■ 桃山学院大学

国・地域		海外学術交流協定 大学数・機関数 (2026年3月現在)	海外留学 派遣者数※1 (桃山学院大学⇒海外)	外国人留学生 受入数※2 (海外⇒桃山学院大学)	国・地域	海外学術交流協定 大学数・機関数 (2025年3月現在)	海外留学 派遣者数※1 (桃山学院大学⇒海外)	外国人留学生 受入数※2 (海外⇒桃山学院大学)	
アジア	中国	6	1	292	北 米	米国	6	0	2
	韓国	6	6	27		カナダ	5	6	1
	台湾	4	2	15	中南米	ペルー	0	0	1
	マレーシア	1	0	5		英国	3	1	0
	ベトナム	3	0	19	ドイツ	6	1	6	
	インドネシア	2	0	3	フランス	2	3	5	
	フィリピン	3	21	1	オランダ	1	0	4	
	タイ	2	11	2	オーストリア	1	0	1	
	インド	1	10	4	チェコ	1	0	3	
	シンガポール	0	1	0	ポーランド	1	0	0	
	ミャンマー	0	0	13	ロシア	1	0	7	
	カンボジア	1	7	0	イタリア	2	5	2	
	ネパール	0	0	2	スペイン	1	0	0	
モンゴル	0	0	1	フィンランド	2	0	2		
バングラディシュ	0	0	1	マルタ共和国	0	1	0		
アフリカ	ルワンダ	0	5	0	中 東	イラン	0	0	1
大洋州	オーストラリア	2	13	0		トルコ	1	0	1
	ニュージーランド	3	0	0	合 計	67	94(72)	421(349)	

※1:各種留学・短期海外研修・海外インターンシップ、国際ボランティア等の派遣先国・地域（オンライン含む）
※2:正規課程留学生（在留資格申請中の者を含む）の出身国・地域、交換留学生・日本語プログラム研修生の派遣元大学の国・地域

※（ ）内は2024年度実績

■ 桃山学院中学校高等学校

<海外留学・海外研修実績>

対 象	プログラム名	期 間	派遣先	参加者数
文理コース（文理クラス）・ S英数コース・英数コース	米国聖公会関係学校交換留学制度	2025/8月～1年間	米国（テキサス州）	3
		2025/8月～12月	米国（ミシシッピ州）	1
国際コース	カナダ語学研修	2025/7/4～7/17	カナダ（バンクーバー）	93
	カナダ短期留学	2025/7/4～8/2	カナダ（バンクーバー）	24
	アジア研修	2026/3/8～3/14	台湾	8
	カナダ長期留学	2026/1月～1年間	ノバスコシア州・オンタリオ州・BC州	45
一貫コース	イギリス研修	2025/7/4～7/11	イギリス	88
高3文理コース（アスリートクラス）	修学旅行	2026/2/17～2/19	グアム	45
中学生	ニュージーランド研修	2026/3/9～3/23	ニュージーランド	36

<受入実績>

種 別	国・地域	期 間	受入人数
米国聖公会関係学校交換留学留学生	アメリカ	2025/8月～2026/7月	3
		2025/8月～2025/12月	1
正規課程留学生	中国	2025/4月～2028/3月	6

7. 学費・諸納付金（2025 年度）

		項 目	金 額
桃山学院大学（※1）	人間教育学部を除く 全学部全学科	入学金	230,000円 入学年度のみ
		授業料	1,069,000円 年額
	人間教育学部（※2）	入学金	230,000円 入学年度のみ
		授業料	1,150,000円 年額
桃山学院大学大学院（※3・4）		入学金	300,000円 入学年度のみ
		授業料	725,000円 年額
桃山学院中学校（※5）		入学金	200,000円 入学年度のみ
		授業料	620,000円 年額
桃山学院高等学校（※6）		入学金	200,000円 入学年度のみ
		授業料	620,000円 年額

※1 その他委託徴収金として、教育後援会費、同窓会会費があります。
※2 その他委託徴収金として、学生教育研究災害傷害保険（通学特約）があります。
※3 各研究科博士前期課程(修士課程)は単位制学費の選択が可能です（社会人のみ）。
※4 その他委託徴収金として、同窓会会費があります。
※5 その他徴収費として、PTA会費、生徒会費、体験学習費、学年共同費、副教材・制服等の学校指定用品等があります。
※6 その他徴収費として、PTA会費、自治会費、修学旅行費、学年共同費、副教材・制服等の学校指定用品等があります。

法人事務局

和泉キャンパス

〒594-1198 大阪府和泉市まなび野 1-1



桃山学院大学

和泉キャンパス

〒594-1198 大阪府和泉市まなび野 1-1



大阪・あべのキャンパス

〒545-0011 大阪市阿倍野区昭和町 3-1-57



堺キャンパス

〒590-0114 大阪府堺市南区槇塚台 4-5-1

桃山学院中学校高等学校

昭和町キャンパス

〒545-0011 大阪市阿倍野区昭和町 3-1-64

